

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山梨市立 加納岩小学校 (山梨県)【指定校】

【取組内容】 スライド・オンラインキャンバスツールを用いた資料の読み取りと共有



取り組みの概要

- 3年生社会
- 教師が事前に用意したデジタル資料をもとに、話し合いをしながら公共施設の変化について考える

取り組みによる成果☆

- ☆ 限られた時間内でデジタル資料を比較・検討することに慣れてきた
- ☆ クラウドを活用した協働編集により、資料の細かい記述を根拠にした話し合いが活発に行われるようになった

取り組み方法

- 教師はオンラインキャンバスツールで進捗状況を一覧で見とる
- 困っている児童や方向性が定まっていない児童には、資料を読み取る視点を与えたり、話し合うグループを整理したりする

これからの課題△

- △ 情報活用能力のさらなる向上を目指し、図を用いる、単語（キーワード）でまとめる、引用で留まらず自分の考えを簡潔に述べる、など、アウトプットの仕方のバリエーションを広げること